

# 高齢者肺炎球菌予防接種説明書

予防接種を受けて、肺炎球菌感染症を予防しましょう。

以下の説明を読んでから予防接種を受けてください。

## 肺炎球菌感染症とは何ですか？

肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。日本人の約3~5%の高齢者では鼻や喉の奥に菌が常在しているとされます。これらの菌が何らかのきっかけで進展することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

## 肺炎球菌感染症をワクチンで予防することは可能ですか？

肺炎球菌には93種類の血清型があり、定期接種で使用される「ニューモバックス NP（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）」は、そのうちの23種類の血清型に効果があります。また、この23種類の血清型は成人の重症の肺炎球菌感染症の原因の約7割を占めるという研究結果があります。

※高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンの定期接種は、平成26年10月1日から開始されています。

## 接種が受けられない場合がありますか？

1. 明らかに発熱している場合
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
3. ニューモバックス NP（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
4. その他医師が不適当な状態と判断した場合



## 接種後の注意事項は何ですか？

1. 接種後は接種部位を清潔に保つこと（入浴は差し支えありません。）
2. 過度な運動は避けること
3. 体調の変化、高熱、痙攣等の異常な症状を呈した場合は速やかに医師の診察を受けること

## どのような副反応の発生が想定されますか？

稀に報告される重い副反応としては、アナフィラキシー様反応、血小板減少、ギランバレー症候群、蜂巣炎様反応等が報告されています。

5%以上に注射部位の疼痛、熱感、腫脹、発赤、1~5%に倦怠感、違和感、悪寒、発熱、筋肉痛、頭痛、注射部位の硬結、ALT上昇、1%未満にほてり、咽頭炎、鼻炎、悪心、腋窩痛、皮疹、注射部位の掻痒感、頻度不明で無力症、関節痛、関節炎、CK上昇、感覚異常、熱性痙攣、嘔吐、リンパ節症・リンパ節炎、白血球数増加、蕁麻疹、多形紅斑、血清病、CRP上昇、注射部位の可動域の低下が報告されています。

定期接種を受けたことにより、健康被害が発生した場合には、救済給付を行うための制度があります。詳細については健康課にご相談ください。

## 肺炎や肺炎球菌感染症にかかったことがあるのですが、定期接種の対象者になりますか？

肺炎の原因は様々な原因でおこり、また肺炎球菌には多くの血清型がありますので、過去に肺炎や肺炎球菌感染症にかかっても、定期接種の対象になります。

## 病気で長く療養していたために、接種を受けられない場合、どうすればいいですか。

接種対象年齢において、長期に渡り療養を必要とする病気にかかっていたために、定期接種を受けることができなかったと認められた場合、長期療養特例として定期接種を受けることができます（この場合、接種可能となった日から1年以内に接種を受ける必要があります）。特例に該当するか否かについては、医学的な判断が必要です。詳細については健康課にお問い合わせください。

## 過去に「プレベナー13（沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン）」を接種したことがあります。定期接種を受けられますか？

過去に「プレベナー13（沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン）」を接種したことがある場合でも、「ニューモバックスNP（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）」を定期接種として受けることができます。

ご不明な点は美濃加茂市健康課まで

TEL 0574-66-1360



美濃加茂市健康づくりPRキャラクター「あゆみん」